

メディケアフーズ展2021出展レポート

本会では、令和2年度のユニバーサルデザインフード普及活動事業の一環として1月に東京ビッグサイトで開催された「メディケアフーズ展 (Care Show Japan 2021)」へ引き続き出展しました(会期：1月27日(水)～29日(金))。

一方、今回の本催事はコロナ禍による緊急事態宣言下での開催となり、出展を取りやめる企業が相次ぎました。会員企業からは、(株)太堀*、(株)海渡*、キッコーマン食品(株)、キューピー(株)、日清オイリオグループ(株)、日東ベスト(株)、日本ケアミール(株)、(株)林原*、(株)フードケア*、(株)ふくなお、(株)マルハチ村松、三島食品(株)、といった施設や病院給食向けの業務用製品を持った企業が中心となり出展しましたが、*印の企業をのぞきパンフレットや商品設置のみの無人対応が多数で、他出展企業についても同様の傾向が見られました。また、緊急事態宣言下での開催は来場者にも大きな影響を及ぼし、本催事のメインである栄養士・管理栄養士層の来場はほぼなく、食品メーカーや流通業従事者が主という結果でした。この環境下において、医療や介護従事職種の来場は絶望的であることは明白な中で開催となりました。ちなみに来場者数は3日間の合計で延べ4,459名(前回13,807名・主催者発表)でした(1日の平均で1,500名前後)。

今回、本会ではこのような来場者の動向を予測しながらの出展となりましたが、このため内容を大幅に変更して臨みました。計画では前回の出展に引き続き「UDFでつくる形態安定食レシピ」のタイトルにて、調理デモンストレーション(実演)とそれら献立の試食を行う予定でしたが、これらを行わず、あらかじめ収録した調理デモンストレーション動画の終日放映とUDF製品の展示、パンフレット配布のみの実施としました。

さらに、UDF試食付きセミナーでは、こちらも試食を取りやめ、録画講演の放映のみを行いました。講師は今回も、介護老人保健施設リハパーク舞岡・栄養課長・苅部康子先生にお願いし、「介護用加工食

品(UDF等)を活用した嚥下調整食作成と取り組み」のタイトルで事前収録にてご講演いただきました(初日)。内容については、施設給食における手作り献立の栄養面での課題、味や見栄えについての課題、人手不足に対する課題、経口維持加算への取り組みなどについて、UDFを活用することで解消できる点が非常に多いことについて具体的な事例を交えて分かりやすく丁寧にご解説いただいた他、さらには、現コロナ下での対応についても加えていただきました。本セミナーについては、多くの関係職種の方々に聴講いただきたい内容でしたが、催事終了後、主催者のフォローアップとしてオンデマンド配信が行われたことを加筆しておきます(2月15日～26日の間)。



出展の様子

【UDF商品登録状況(2,043品目・1月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	4	0	95	4	114
冷凍食品	289	262	756	20	0	0	1,327
常温食品	176	77	199	149	1	0	602
合計	465	350	959	169	96	4	2,043

【会員の異動(1月)】

新規加入会社2社：ピジョン(株)、(株)海渡。
計90社(1月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
TEL 03-5256-4804
FAX 03-5256-4805
<https://www.udf.jp/>